

# 事業所における自己評価総括表

スタッフ回答 評価実施期間：R7/2/27～R7/3/12

保護者回答 評価実施期間：R7/2/27～R7/3/7

対象者数

42

213

有効回答数

42

167

強み

事業所の強み（※）だと思われること  
※より強化・充実を図ることが期待されること

1

アセスメントや個別支援計画書の作成にあたり、お子さま・保護者様のニーズや課題を客観的に分析した計画を作成できている。また、児童発達支援管理責任者だけでなくお子さまの支援に関わる職員にも共有され、共通理解の下で計画に沿った支援をすることができている

2

ご家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている

3

職員の資質向上のための研修制度・取り組みが充実している

1

・アセスメントや計画書は個別のパーソナルファイルに保管され、鍵付きの書庫にて管理されている。  
・計画書の作成時には、支援にあたる職員にもお子さまに関する聞き取りを行い、職員の意見も反映された計画書が作成されている。作成した計画書は事業所内の会議の中で共有され、必要な場合には職員が閲覧できるようにしている。共有された計画書の内容に沿って日々の支援が適切に行われている。

2

・保護者様からご家庭でのお困りごとの相談があると親身に聞き助言を行っている  
・ご家庭との連携を図るために、相談があつた際には職員間での共有を行うようにしている

3

・毎月定期的に内部研修が行われており、内容としてもスキルが身につく内容で活かされている  
・外部研修の情報提供が頻繁に行われている  
・個人で受けたい外部研修を相談できる制度がある

工夫していることや  
意識的に行っている取組

1

・アセスメントや計画書に関する職員の知識を向上させる取り組みを行っていきたい。

2

家族支援プログラムなど家族等で参加できる研修の機会や情報提供の場を提供し、保護者様同士で交流する機会を設けていきたい。

3

BCPや虐待など法的に必要な研修以外に支援力や社会人などを身につける研修カテゴリーを増やしスキルやサービスの向上を目指します。

さらに充実を図るための取組等

## 弱み

事業所の弱み（※）だと思われること

1

- ・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている

2

- 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている

3

- 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われている

事業所として考えている課題の要因等

1

- 以前は、地域の方を招くの交流会やペアレント・トレーニング等の開催もあったが、ここ数年は開催に至っていない。感染症流行下であることが、交流を行いにくい大きい要因のひとつである思います。その他にも、それぞれの機関の活動時間が異なり時間が合わせにくいことも要因としてあげられます。

2

- ・マニュアルを保護者様に周知機会を設けていない
- ・訓練の実施について見える化ができていない

3

- ・訓練の実施について見える化が不十分である

改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等

1

- ・各事業所の管理者が集まる会議で地域・保護者交流に関する議題を入れ、令和7年度は交流の場を増やせるよう意見だしを行っていく。
- ・定期的に保護者の方に事業内容や活動内容、お子さま達の成長を伝えられるような機会や保護者同士の交流の機会を設けていきたい。
- ・参加しやすい曜日や時間帯、参加してみたい内容など様々な手段・企画を試していきたい。

2

- 救急要請・AED使用など毎年行っている救命救急研修はブログ・インスタでの周知に加えて HUG（連絡帳機能アプリ）でも情報共有を行っていきたい。

3

- ・訓練でのお子さまたちの様子や課題や対応策などの気づきをその都度保護者に見える化し、共有していきたい。月に予定表に避難訓練の実施予定日を記載していく。